

平成19年度決算認定 決算内容を厳しくチェック

決算額は…

一般会計

歳入 169億3,834万2,689円
歳出 161億6,417万3,266円

国民健康保険特別会計 歳入 62億721万7,220円 歳出 58億7,594万3,538円	公共下水道事業特別会計 歳入 11億6,417万1,766円 歳出 11億2,911万1,001円
老人保健特別会計 歳入 47億2,341万7,243円 歳出 46億4,144万408円	介護保険特別会計 歳入 28億7,697万5,207円 歳出 27億7,810万6,204円
農業集落排水事業特別会計 歳入 4億2,940万4,556円 歳出 4億1,629万3,822円	野外趣味活動施設特別会計 歳入 3,096万8,591円 歳出 3,096万8,591円
岩瀬水道事業会計 収益的収入 4億8,880万4,316円 収益的支出 5億1,494万9,538円 資本的収入 1億5,833万1,350円 資本的支出 2億4,693万1,449円	大和水道事業会計 収益的収入 1億6,491万2,926円 収益的支出 2億798万9,153円 資本的収入 0円 資本的支出 5,179万9,326円
真壁水道事業会計 収益的収入 4億335万8,386円 収益的支出 4億1,309万6,500円 資本的収入 557万4,500円 資本的支出 1億804万6,828円	

主な事業とその結果は…

道路新設改良事業



地域住民の安全確保及び利便性の向上を図り、より安全で快適な道路を整備しました。
(写真は東矢貝地区道路改良工事)

ごみ減量化対策事業



ごみの減量化やリサイクルに対する意識の高揚を図り、廃棄物の発生量の抑制、減量化、再生利用に積極的に取り組みました。

市立大和中学校改築工事



新校舎はことし12月20日までに完成する予定で、生徒は3学期を新しい校舎で迎えられる見込みです。

平成20年第3回定例会

9月9日～22日の会期で開催され、平成19年度決算を中心に、多岐にわたり質疑が行われました。

大和消防分署、出動が多いが

問 大和消防分署でシャッターが閉まっており、出動中の看板が掲げられているのはなぜか。
答 北関東自動車道の開通に伴い、桜川消防署に救急隊が増設された関係により、大和消防分署の人員は七名減となりました。そのため、大和消防分署においては一台の車両しか対応できないことにより、出動中はシャッターを閉めています。

石材業関係の補助金

問 石材は確かに地場産業だが、補助金全部を市が負担するのはいかがなものか。ほかの産業もあるのではないか。
答 桜川市は県下の石材産業の産地です。ここを活性化することにより、まちおこしができると思っています。商工会の中には石材業以外もありますので、これについては、また別な議論をいただければと思っています。

病院の経営について

問 県西総合病院組合の負担金二億三七五万四〇〇〇円と交付税算入交付金一億八〇二万一〇〇〇円が算入され、約四億円の負担金が入ってくる。負担金を出しているにもかかわらず、医師が不足しているとのことだが、どのように市長は考えているのか。
答 医師不足に関しては、より一層力を入れていきたい。

賃借料の詳細は

問 総務管理費から消防費まで約三十件の賃借料があり、合計すると一億円近い額になる。その賃借料の内容について、単価の高い所、低い所を具体的に示していただきたい。
答 場所により単価にばらつきがあります。防火貯水槽で一m四六二〇円の所もありますが、山の方では一m何十円という所もあります。来年度以降の更新時期から随時交渉していきたい。

係争中の案件は

問 一般管理費の顧問弁護士委託料三三六万円だが、市が係争中の案件を具体的に説明していただきたい。
答 通常の顧問弁護士料は六三万円です。訴えられているものは三件。再生資源物売却損害賠償住民訴訟請求事件、市長公用車使用損害賠償住民訴訟請求事件、公金違法支出金返金請求事件です。

学校のパソコン設置

問 小・中学校における教育用パソコンの設置について。
答 各小・中学校のパソコンはリースしています。今後リース期間等が終了後、買い上げをしておく方針です。

米づくり産地育成事業

問 買ってもらえる米づくり産地育成事業とはどのような事業か。また、この事業を導入したことによる水田農家のメリットは。
答 地域の気象や特徴を生かして、消費者の多様なニーズに対応した米産地になるために必要な機械や施設の整備等に対し助成する事業で、補助率は事業費の三分の一以内です。農業機械を効率的に利用

不納欠損の滞納整理

問 不納欠損の滞納整理について成果は。
答 昨年度も職員が一丸となり、十一月に滞納整理を行いました。今年度は、七、八月に収税課で滞納整理を行った結果、約六二六万円入金しており、成果は上がっています。今年度も引き続き滞納整理を行う予定です。

水道石綿管の更新事業経費の総額は

問 石綿管の国・県の予算措置は。また、今後の事業終了までの経費の総額は。
答 平成二十一年度以降、岩瀬地区に残る石綿管三十キロメートルを随時交換していく計画です。事業の額としては総額九億円を見込んでいます。